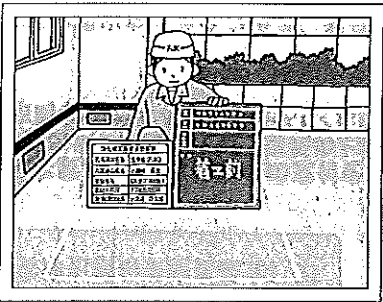
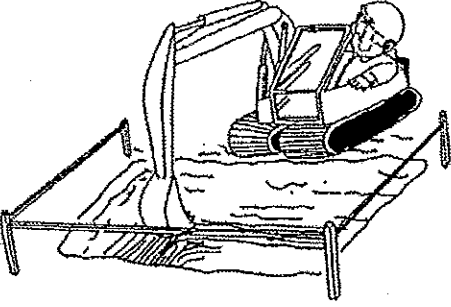
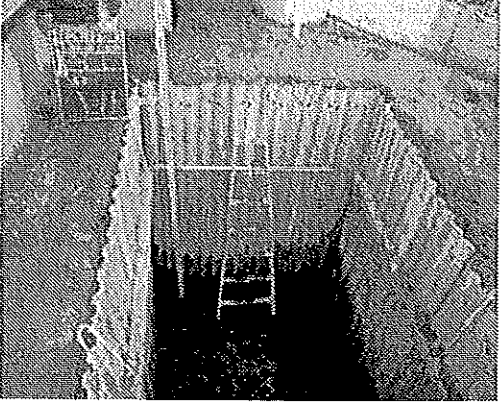
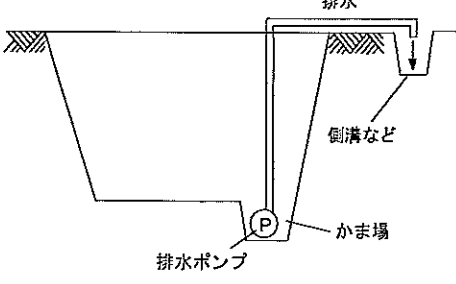
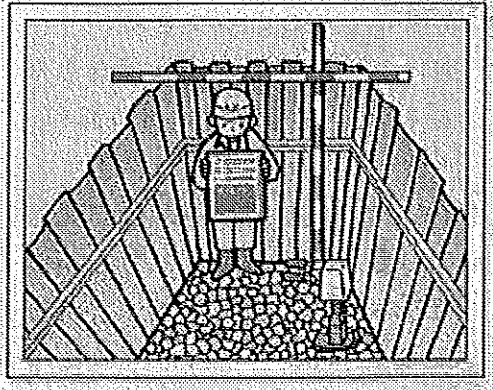
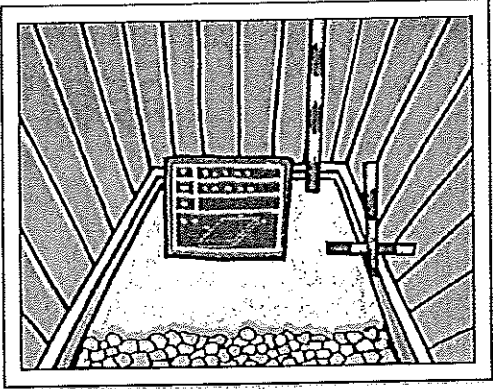
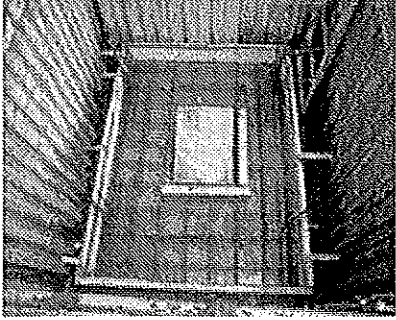
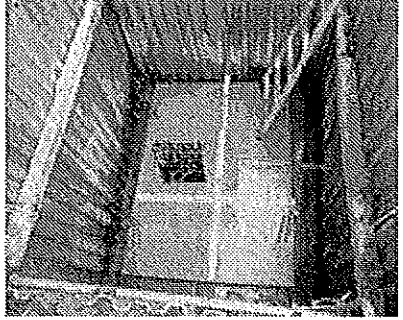
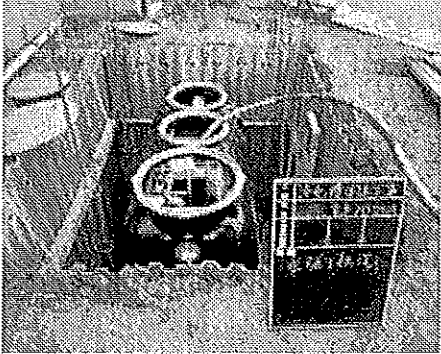
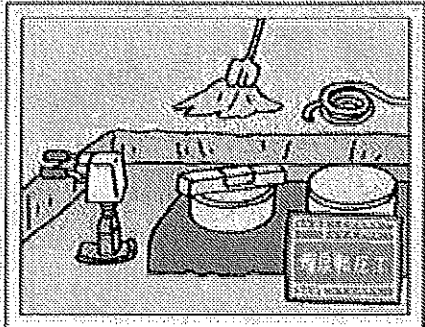
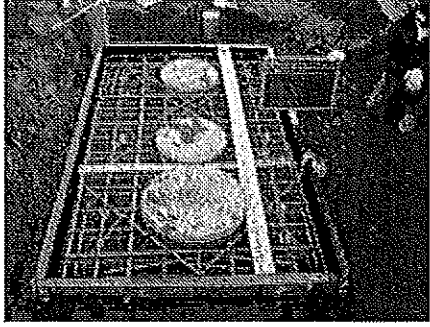

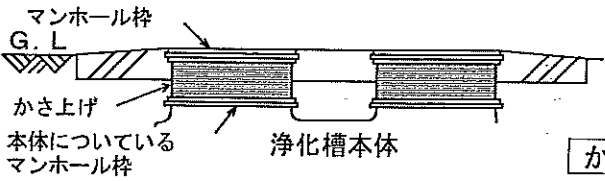
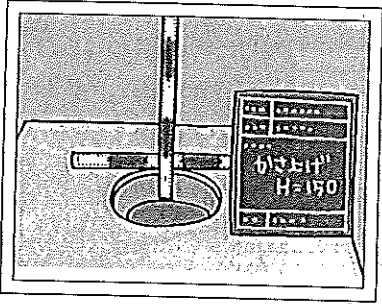


実績報告書提出時に添付する工事の工程写真については、次の要領で写真撮影し添付してください。

工事名	工事の概要
<p>1) 仮設工事</p> <p>※一般住宅の工事では仮設工事を省略する場合があります。</p>	<p>整地を行い、浄化槽の位置を決めるために地縄張り（縄を張って配置を決める）を行います。</p> <p>【写真のポイント】 浄化槽設備士が正面を向いて、標識を掲げ、背景に工事を行う場所の周辺状況とともに写っていること。なお、標識版の記載事項が判読できることが望ましい。</p>  <p>基準点からのレベル、位置、方向、芯を出すためのやり方（位置、高さなどを表示するための仮設物）を行います。</p>
<p>2) 掘削工事</p>	<p>通常、バックホー等の機械を用いて基礎地盤まで土砂を掘削します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>掘削工事の例1 (オープンカット)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地に余裕がある</li> <li>・固くて崩れにくい良質な地盤</li> <li>・湧水がない又は少ない</li> </ul> </div> <div style="text-align: center;">  <p>掘削工事の例2 (山留め工法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地が狭い</li> <li>・軟弱な地盤</li> <li>・建物や道路に接して掘削</li> <li>・湧水が多い</li> </ul> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>掘削工事の例3 (水替え工法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・湧水がある場合、上記工法と合わせて行う</li> </ul> </div>

工事名	工事の概要
<p data-bbox="268 248 437 286">3) 基礎工事</p> <div data-bbox="268 779 497 936" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【写真のポイント】 不等沈下防止のための基礎工事を行ったことが分かる写真を残す。</p> </div> <div data-bbox="256 1527 501 1599" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※鉄筋コンクリート打ちの手順</p> <pre style="margin: 0;"> 型枠設置 ↓ 鉄筋組立 ↓ コンクリート打ち ↓ 仕上げ ↓ 養生 </pre> </div>	<div data-bbox="528 248 1283 320" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 砕石地業 地盤を強固にするため砕石を敷いて、突き固めます。</p> </div> <div data-bbox="592 443 1086 831" style="border: 1px solid black; text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1098 528 1283 568" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> <p>砕石地業の例</p> </div> <div data-bbox="528 853 1382 994" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>② 捨てコンクリート 墨出し（通り芯、型枠の位置、浮上防止金具の取付位置などを表示する）や掘り過ぎた高さの調節を行うため、コンクリートを打ちます。</p> </div> <div data-bbox="592 1021 1086 1408" style="border: 1px solid black; text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1098 1093 1353 1189" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> <p>捨てコンクリート 打ちの例</p> </div> <div data-bbox="528 1447 1382 1552" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>③ 鉄筋コンクリート 浄化槽本体を水平に設置できるように、また、上部の荷重を地盤に伝えるために鉄筋コンクリートを打ちます。</p> </div> <div data-bbox="557 1592 1382 1910" style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div data-bbox="778 1928 1145 1966" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> <p>鉄筋コンクリート打ちの例</p> </div>

工事名	工事の概要
4) 据付工事	<p>浄化槽をクレーンなどで所定の位置に吊り降ろします。位置や水平の確認・調整後、槽内に水を張ります。</p>  <p style="text-align: right;"><b>据付工事の例</b> (据付後の水張り)</p>
5) 埋戻工事	<p>石などの混入していない良質な土砂で浄化槽の周囲を埋め戻します。この際、水締め及び突き固めの作業を何回かに分けて行います。</p>  <p style="text-align: right;"><b>埋戻工事の例</b></p> <p>【写真のポイント】 水張りを行い、本体の水平を確認しつつ埋戻しの作業を行っている事が分かる写真を残す。そのためには、以下の道具等が写っている必要がある。</p>
6) 上部スラブ工事	<p>維持管理の作業を容易にするため、雨水が槽内に浸入することを防ぐためにスラブコンクリートを打ちます。また、槽の浮上を防止する役割もあります。</p>   <p style="text-align: center;"><b>上スラブの配筋例</b>                      <b>上部スラブ工事の例</b></p>

工事名	工事の概要
7) かさ上げ工事	<p>排水地点と浄化槽までの距離が長いと、配管の勾配を確保するために槽を深埋めする場合があります。この場合、マンホール蓋のかさ上げ工事を行います(かさ上げは30cm以内)。</p>  <p><b>【写真のポイント】</b> マンホール蓋の高さから、バルブ等の操作が可能であるかが分かる写真を残す。そのためには、バルブの上端からマンホール蓋までの距離が分かるように、スケールをあてた写真を写す。</p> 
8) ピット工事	<p>かさ上げが30cm以上になる場合は、ピット工事を適用します。</p> 